

災害への備え

できているか確認して☑しよう

3 家具・家電の転倒・移動防止をしよう

キッチンでは



食器棚

ガラス飛散防止
フィルムを貼り
ましょう。

チェック

L字金具などで
固定しましょう。

チェック

留め金を付けま
しょう。

チェック

滑り止めシート
を敷きましょう。

チェック

冷蔵庫

転倒防止ベルトなど
を使ってしっかりと固定し
ましょう。

チェック

家具類は壁に
しっかりと
固定しましょう。

電子
レンジ
など

台は壁や床に固定し、電
子レンジなどはストラッ
プなどで固定しましょう。

チェック

キャスター
式家具

キャスター下皿を
置きましょう。

チェック

家具類固定の注意点

- 家具類の固定に最も適して
いる箇所は壁です。
- 壁の中に入っている角材など
に取り付けましょう。

災害への備え 家具・家電の転倒・移動防止をしよう

できているか確認して☑しよう

リビングでは

照明器具

つり下げ式のものは、ワイヤーなどで補強しましょう。天井に直接取り付けるタイプが安全です。

チェック

本棚

L字金具などで壁に固定しましょう。

チェック

ベルトなどを取り付けて、本が飛びださないようにしましょう。

チェック

テーブルやイス

滑り止めシールを貼りましょう。

チェック

テレビ

ロープなどで壁に固定しましょう。

チェック

テレビ

照明器具

本棚

テーブルやイス

粘着マットなどの滑り止めを付けましょう。

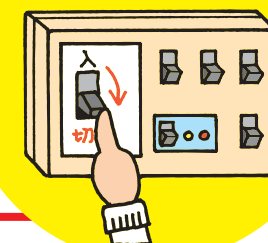
チェック



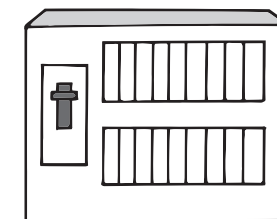
感震ブレーカーの設置

- 感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。
- 大きな地震のあとには、電気に起因した火災が多く発生しています。
- 地震時等の電気火災を予防できる感震ブレーカーをつけましょう。

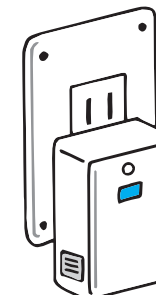
地震発生時はブレーカーを切りましょう



分電盤タイプ



コンセントタイプ



災害への備え

4 家の中の安全を確保しよう

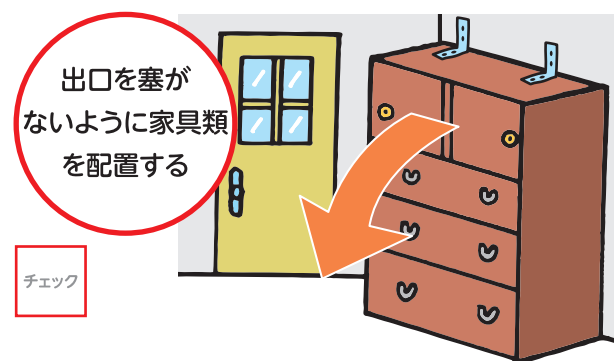
できているか確認して☑しよう



部屋が複数ある場合は、人の出入りが少ない部屋に家具をまとめて置きましょう。



地震が発生した時に、家具の下敷きにならないように倒れてくるような家具類は置かないようにしましょう。



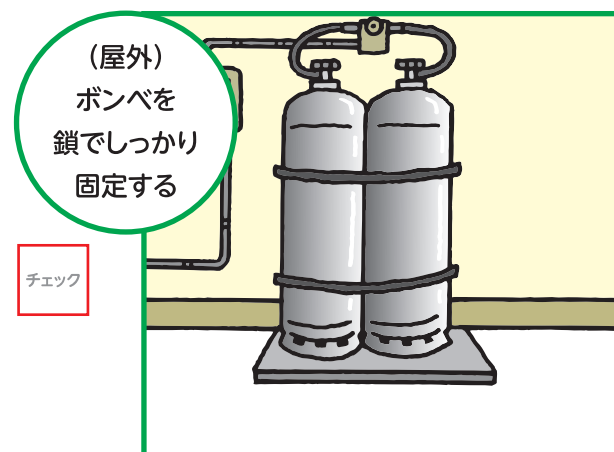
万一、地震で家具が倒れても逃げ道を塞がないような配置にしましょう。家具類の固定をしましょう。



安全に避難できるよう、玄関など出入り口までの通路に倒れやすい家具類や物を置かないようにしましょう。



食器棚や額縁などのガラスにも飛散防止フィルムを貼りましょう。

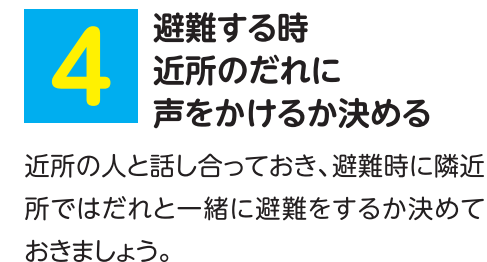
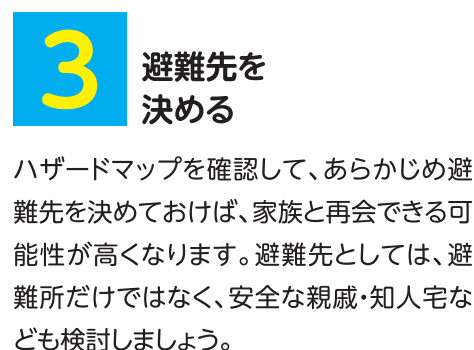
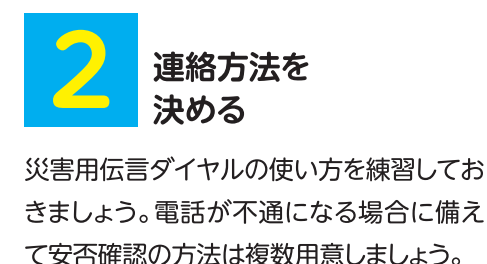
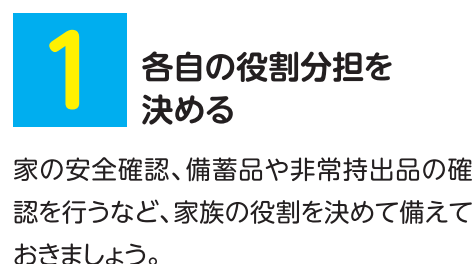


災害への備え

5 家族で話し合おう

災害はいつ襲ってくるかわかりません。災害の発生に備え、各自の役割分担や連絡方法、避難方法などをあらかじめ話し合っておきましょう。

家族で決めた防災ルールは冷蔵庫などいつでも見られるところに貼っておこう!



安否確認の方法

- 災害発生時、被災地エリア間の電話はつながりにくくなります。そんな時でも、被災地エリア外の電話は比較的つながりやすくなっています。
- 遠方の親戚や知人に連絡を取ることを決めておけば、安否確認に役立ちます。



地域には、ひとりで避難することが難しい人もいます

災害時の被害は、高齢者や障害のある方など、ひとりで避難することが難しい人(避難行動要支援者)に集中してしまいます。このような被害を減らすため、市町村では、避難行動要支援者が「誰の支援を受けてどこに避難するか」を決めておく「個別避難計画」の作成を進めています。この取組を進めていくためには、ご近所での助け合いが大変重要になります。

